10 キャスタブル耐火物
工　法　・こて押さえ　(20. 2. 11)
最高使用温度　・４００℃
製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。

⑪ブラインド　(20. 2. 12)

形　式		スラットの材種	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
⊙横形	⊙ギア式・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	⊙２５
⊙縦形	⊙１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ⊙クロススラット	⊙８０ ・１００

12 ロールスクリーン
防炎性能　※有り　(20. 2. 13)

施工箇所	装　置		備考
	電動	手引	

製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。

13 カーテン　(20. 2. 14)

施工箇所	形　式		装　置			ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	ひも引	手引			
図示								

14 カーテンレール
材種　※アルミニウム製　・ステンレス製　(20.2.14)
形式　⊙片引き　※引分け
（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
・木製(W)ＯＰ塗装　・スチール製(Ｓ)ＳＯＰ
溝幅¥U+00D7深さ（mm）サイズは詳細図による。
色彩　・図示
・取付ヶ所

16 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	・完全（全貫通型） スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目　地	内壁（W幅¥U+00D7深さ）	外壁(W幅¥U+00D7深さ)
目地材	シーリング材 （見え掛かりのみ）	シーリング材(内外共)
目地寸法(mm)	・２０¥U+00D７１０	・２０¥U+00D７１０・

製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。

17 止水板
形　状　・壁張り式　・差込式　・据置式
製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。

⑱天井点検口
材質　⊙アルミニウム製（⊙額縁タイプ　・目地タイプ）　450角

19 床点検口
材質　ステンレス製（受け枠・アルミ製・ステンレス製）

20 鋼製書架及び物品棚（別途）

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1039の規格による	・１種　・２種　・３種

21 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　ｴｰｽｷｰﾎﾞｯｸｽKC-30

22 玄関マット
市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ステンレス製（受枠とも）
・排水目皿接続

23 流し台ユニット

種　類	寸法(L=mm)	適用範囲	施工場所
	900	ＩＨヒーター付	通路02

24 黒板及び掲示板　(23. 2. 8)

種　類		寸　法	色　彩	備　考
・黒板	・焼付け 施工箇所	・4500 x 1200	・緑・黒	・平面　・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分け
・掲示板	・塩ビ発泡 シート貼り	・4500 x 1200	・緑	・平面　・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分け
・白板	・移動式	・3600 x 1200	・白	・平面　・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分け

25 洗面ｶｳﾝﾀｰ
材　種　・人工大理石
奥行き（mm）　・約500
ボックス面材　・メラミン化粧板
奥行き（mm）　・

26 防煙垂れ壁
・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
・網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	・６．８ ・	・５００ ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	・不燃布 （不燃認定品）	・５００ ・８００ ・	ガイドレール ・固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又は アルミ製	・５００ ・８００ ・	表面仕上げ ・天井材張り ・

27 誘導用及び注意喚起用床材
仕様はＪＩＳ Ｔ９２５１による
屋　内　・塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（・300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　・レジンコンクリート製
・磁器又はせっ器質タイル(・300　・　)

㉘敷地境界石標　・Ａ種　・Ｂ種

29 旗竿
材　質　・アルミニウム合金製
形　式　・テーパー型　・同一断面型
地上高さ(m)　・６　・８　・１０　・１２
操作方法　・ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

30 旗竿受金物
材　種　ステンレス製ＳＵＳ３０４
施工箇所　XXXX

31 フェンス
外構図に準ずる。

32 屋外掲示板
照明器具　・有り　・無し
施　錠　・有り　・無し
製造所

33 輪止め

34 収納・収納家具
合板類のＪＡＳで定めるホルムアルデヒドの放散量の等級はＦｃ０とする。　(12.2.2)(19.7.2)
ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)およびﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのＪＩＳで定めるホルムアルデヒドの放出量の等級はＦ☆☆☆☆とする。

35 ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ・ｼﾞｮｲﾝﾄ金物
材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・５０・１００・１５０・２００
耐火性能　・有り（　）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

36 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
図示した室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。
・測定法（１）　アクティブ式
・検知管法　・検知紙法　・定電位電解法　・吸光光度法
測定は　箇所、場所（※図示　・　）
※測定法（２）　パッシブ式
蒸気拡散式分析法による簡易測定機器等で、対象化合物はホルムアルデヒド・トルエン・キシレンの３種について行う。
上記測定方法（１）、（２）により指針値を超えた場合は、強制換気等により測定対象物質の放散促進を図り測定法（１）により指針値以下になることを確認する。

37 大型門扉　※図面による

38 プロパンボンベ収納庫
・高耐食性溶融メッキ鋼製（１２本収納）
（1.3 x 2.2 x H2.16）　ボンベックＢＮ-6000Ｄ　ホクエイ

39 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ　・アルミ製既製品　ＳＴＮ１５－２０３０　第一機材

21 排水工事

①排水管
排水管用材料　(21. 2. 1)(表21. 2. 1)(21. 3. 3)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
・遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	・外圧管(・1種　・2種)	Ｂ形（ゴム接合）
※硬質塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ	

車道部の排水管の敷設　※図示　(21. 3. 1)(21. 3. 3)
・砂基礎(地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)

②排水桝及びふた
オーバーフロー管　カネソウOS-1
鋳鉄製マンホールふた　(21. 2. 2)

種　類	適用荷重
・水封形	・Ｔ-　２用
・簡易気密形（パッキン式）	・Ｔ-　６用
・中ふた付密閉形	・Ｔ-１４用
・密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ-２０用

グレーチングふた（化粧蓋）　(21. 2. 2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾞｯﾁ	上面形状
・鋼製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き ・ ボルト固定 ・無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ-２用 ・Ｔ-６用 ・Ｔ-１４用 ・Ｔ-２０用	・細目 ・普通目 ・細目	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形

3 埋戻し土　・Ｂ種　・　(21. 2. 3)(表3. 2. 1)

4 浸透管及び浸透桝
製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出しする。

22 盛土工事

①盛り土に用いる材料　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(22. 2. 3)(表3. 2. 1)

②遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層　・川砂、海砂又良質な山砂　(22. 2. 2)(22. 2. 3)
・凍上抑制層　・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 切り込み砂利　・砂
厚さは図示

③路床安定処理
・添加材料による安定処理　(22. 2. 2)(22. 2. 3)(表22. 2. 2)
種類　・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　ｋｇ／m3目標ＣＢＲ(・５以上　・　)

4 路床土の支持力比試験　・行う（・乱した土　・乱さない土）　(22. 2. 5)

5 路床締固め度の試験　・行う　(22. 2. 5)

⑥路盤材料
※再生クラッシャラン（ＲＣ-４０）　(22. 3. 3)
・クラッシャラン（Ｃ-４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ-４０）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

⑦アスファルト舗装　(22. 4. 2)(表22. 4. 1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(透水性)	※無し　⊙有り	・顔料混入加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生ｱｽﾌｧﾙﾄ　・ｽﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ　(22. 4. 3)

8 コンクリート舗装
加熱アスファルト混合物の種類　(22. 4. 4)(表22. 4. 6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	・密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
	・細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	・細粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
基層	※粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)	

シールコート　※行わない　・行う(施工範囲：　)　(22. 4. 5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22. 4. 6)

早強セメント　・使用しない　・使用する　(22. 5. 3)
注入材料　・低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ　(22. 5. 3)(表22. 5. 3)
溶接金網　・有り　・無し　(22. 5. 3)(22. 5. 4)
厚さ試験　・行わない　・行う　(22. 5. 6)

9 透水性舗装
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22. 4. 6)(22. 6. 6)

10 排水性舗装
アスファルト混合物　(22. 7. 3)(表22. 7. 2)
・改質アスファルト1型　・改質アスファルト2型
ﾀｯｸｺｰﾄ用ｺﾞﾑ入りｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤の種類　(22. 7. 3)(表22. 7. 3)

適用時期	種　類
下記以外	ＰＫＲ-Ｔ１
冬期	ＰＫＲ-Ｔ２

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　・行わない　・行う　(22. 7. 6)

11 ブロック系舗装
※コンクリート平板舗装　(22. 8. 2)(22. 8. 3)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板（Ｎ）・カラー平板（Ｃ） ・洗出平板（Ｗ）・擬石平板（Ｓ）	※３００角 ・	※６０	※砂 ・モルタル

※インターロッキングブロック舗装　(22. 8. 2)(22. 8. 3)

種　類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部・80 歩道部※60	※標準品（既存同等品） ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	・80　・100	

製造所　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

※舗石舗装　(22. 8. 2)(22. 8. 3)

種　類	厚さ(mm)	施工方法	基　層
※小舗石(花こう岩)	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

12 路面表示用塗料
・品　質　ＪＩＳ　Ｋ５６６５による　・３種１号　・
・寸　法　幅(mm)・150　厚さ(mm)・1.0
・施　工　溶融式

23 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備
※外構図による。
芝及び地被類　(23. 2. 2)(23. 2. 3)(表23. 2. 1)(表23. 2. 2)

適　用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※20	※Ｂ種	※植栽範囲　・図示

樹木　(23. 2. 2～3)(表23. 2. 1～2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工　法	整備範囲
・１２以上	※１００　・	※Ａ種	・薬張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲 ・図示
・７超～１２未満	※８０　・	・Ｂ種	
・３超～７以下	※６０　・	・Ｃ種	
・３以下	※５０　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
樹種

2 植込み用土　・現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土）　(23. 3. 2)

3 土壌改良材　※適用する　(23. 2. 3)(23. 2. 4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

4 支柱材　※杉の焼丸太　・竹　(23. 3. 2)

5 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23. 3. 2)

6 芝張り　種類　※こうらい芝　・野芝　(23. 4. 2)

7 屋上緑化

※A2をA3に縮小